

令和 3 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

□令和 3 年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会事業計画 (案)

今年度は、第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画（令和元～5年度）に基づく取り組みが3年目となります。本計画の目標達成に向けた事業は、昨年度の取り組み評価から得た課題と対応を踏まえて、引き続き明知鉄道を基軸とした公共交通ネットワークを構築していきます。

明知鉄道については、安全運行に不可欠な老朽施設の更新を行うとともに、企画列車やの開発や準パターンダイヤの導入に向けた取り組み等により、経営基盤の安定化を図ります。

バス運行については、地域ごとに、バス等のサービス維持を図りながら、その他の移動手段を総動員して移動ニーズに対応した環境を整備し、誰もが利用しやすい移動サービスの提供を図ります。

また、本年度より新たに取り組む「モードを跨いだ運賃設定」（事業3-1-4）については、本協議会員以外の交通事業者にも協力を得ながら、運賃の設定等について検討を進め、利便増進を図ります。

そして、地域公共交通活性化再生法等の改正や、諸状況の変化を踏まえ、現行計画を前倒しで改定し、改正法に対応した「明知鉄道沿線地域公共交通計画」（仮称）を本年度中に策定します。

事業内容は、主に次のとおりとします。地域全体で守り育てる意識を持ってもらうよう地域、事業者、行政が協働して取り組んでいきます。

(1) 会議

会議名	主な内容（予定）
第1回協議会 (令和3年6月2日)	1. 令和2年度事業報告並びに収支決算報告について 2. 令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 3. 恵那市地域内フィーダー系統確保維持計画について 4. 明知鉄道生活交通改善事業計画について 5. 明知鉄道沿線地域公共交通計画(案)について (第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画の見直し)
第2回協議会 (令和3年10月)	1. 明知鉄道沿線地域公共交通計画(素案)について
第3回協議会 (令和3年12月)	1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について (陸上交通における地域内フィーダー系統) 2. 令和4年度活動方針(案)について 3. 明知鉄道沿線地域公共交通計画(案)について

(2) 主な事業

事業名	内容等	
第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画の推進		
<p>【目標1】 公共交通を「支える」「活用する」 地域住民の活動促進</p>	<p>1. 公共交通を「活用」する市民の意識づくり</p>	<p>1. 観光列車やイベントでの市民による活動 2. 地域イベントと連携した公共交通の活用 3. SLの復元を通じた地域づくり 4. 住民活動や高校生に使いやすく人が集う駅づくり</p>
	<p>2. 公共交通を「支える」市民の活動促進</p>	<p>1. 明知鉄道が有するさまざまな価値の発信 2. 沿線環境の整備 ・地域住民による沿線環境（景観）整備・植樹 ・明知鉄道連絡協議会による沿線景観整備（継続） 3. 収入源の拡大 ・各種定期券の販売検討 4. モビリティマネジメントの推進 ・3K（高齢者、高校生、観光客）サポートの推進 ・ふれあい列車運行、高校生ミーティング開催、高齢者団体への利用促進PR、バス時刻路線マップ作成</p>
	<p>3. バス運転手確保に向けた全市的な取り組み</p>	<p>1. 職業紹介企業との連携による募集活動 ・就職・転職支援企業と交通事業者との連携による求人募集 ・合同企業説明会への出展支援（運転手確保） ・官民の連携による意見交換会の開催 2. 資格取得の奨励策の調査・検討 3. 有償運送等運転手の養成講座の開設</p>
<p>【目標2】 沿線への移住定住を促す地域公共交通ネットワークの形成</p>	<p>1. 地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成</p>	<p>1. 恵那駅周辺での循環線の新設 2. 幹線と地域路線の見直し ・地域路線の改善と検証 ・「地域内フィーダー系統確保維持計画」に基づく事業の実施（上矢作地区のバス路線の運行とフォローアップ調査） 3. 明知鉄道の1時間1本化（準パターンダイヤ）</p>
	<p>2. バスによる通学利用促進</p>	<p>1. 通学路線のルートやダイヤ、運賃の検証・改善 2. スクールバスの調査・活用 3. 運賃のキャッシュレス化 ・動向調査、方策検討</p>
	<p>3. 地域によるバス運営の展開</p>	<p>1. 自主運行バス運営方針の遵守 2. 地域検討会の開催 ・恵那市内各地区にて随時見直し 3. 地域移送サービスの発展支援</p>

	4. 快適な公共交通利用環境の整備	1. 施設の更新 明知鉄道 ・線路設備、保安通信設備等 （詳細は明知鉄道生活改善事業計画を参照） 自主運行バス ・車両更新計画の策定 （詳細は恵那市地域内フィーダー系統確保維持計画を参照） 2. P & R、サイクルトレインの推進 3. 鉄道・バス共通1日乗車券の販売
	5. 関係者との連携強化	1. 東鉄バス恵那峡線・明智線の改善等 2. 隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1. M a a Sを意識した観光資源を結びつける取り組み	1. 運賃のキャッシュレス化（2-2-3 再掲） 2. 路線検索システムの構築 ・検索運用（ダイヤ改正に伴うデータ更新等） ・検索システムの活用検討 3. 日帰り旅コースの設置・運用 4. モードを跨いだ運賃設定 ・定額制乗り放題運賃、年間パスポート導入の検討 ・鉄道とバス運賃の統合の検討
	2. バリアフリー化を通じたサービスアップ（現状維持から発展へ）	1. 駅舎などのバリアフリー化 2. ボランティア車掌の創設 3. 外国語案内・バス系統番号の表示
	3. 観光列車の推進	1. 観光列車と広報・周知の充実 2. 観光列車やイベントでの市民による活動（1-1-1 再掲）
その他		

※1 上記事業の詳細については、「第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画」のVI 目標達成のための施策・事業（P47～67）を参照

※2 新事業「モードを跨いだ運賃設定」については、次頁を参照

(3) モードを跨いだ運賃設定について

①趣旨

本年度より本計画の目標3の1施策「MaaSを意識した観光資源を結びつける取り組み」に「モードを跨いだ運賃設定」を行うこととしている。この運賃設定を行うには、交通事業者間において、運賃や配分方式について検討する必要があるため、本協議会に検討部会を設置する。

②対象事業

- イ 定額制乗り放題運賃・年間パスポート
 - ・定額制乗り放題運賃 ある1日を一定金額で地域内の公共交通が乗り放題
 - ・年間パスポート 年間で乗り放題
- ロ 鉄道とバス運賃の統合
 - ・鉄道とバス運賃の統合 運賃に関する乗継時の不便解消

〈イメージ図〉



③検討方法

運賃検討部会の構成

- ・ 2市
- ・ 交通事業者

④検討内容

- ・ 実施区域
- ・ 事業の目的
- ・ 事業の内容
- ・ 実施予定時期
- ・ 事業実施に必要な資金の額・調達方法
- ・ 事業実施に必要なデータ連携に係る事項
- ・ その他

□令和3年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会収支予算書（案）

【収入の部】

（単位：円）

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (R3-R2)	説明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	3,000,000	3,000,000	0	恵那市
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	国
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	2,993,318	1,489,998	1,503,320	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	682	1,002	▲320	預金利息
合 計			5,994,000	4,491,000	1,503,000	

【支出の部】

（単位：円）

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減 (R3-R2)	説明
1 運営費	1 会議費	1 会議費	60,000	60,000	0	協議会開催経費
	2 事務費	1 事務費	50,000	50,000	0	消耗品費、役務費、印刷費など
2 事業費	1 事業費	1 事業費	5,784,000	4,281,000	1,503	・計画策定・フォローアップ調査 ・利用促進・PR事業（バス時刻路線マップ作成等）
3 予備費	1 予備費	1 予備費	100,000	100,000	0	
合 計			5,994,000	4,491,000	1,503,000	